はじめに

英作文の力を伸ばす。これが、本書の目指す目標です。この目標を達成する際に、まず直面するのが「日本語の壁」です。何かを英語で表現しようとする際に、母語の日本語が浮かんできます。これは自然なことですが、日本語をそのまま直接英語にしようとすれば、一筋縄ではいかない場合がほとんどです。日本語の表現のしかたが引っかかってしまい、それが英語表現を作ることを妨げてしまうからです。この日本語の壁を乗り越える最良の方法は、日本語で表現された状況を英語的な発想で表現する訓練をすることです。本書では、その訓練方法を行う際に、以下の２つのポイントに注目します。

① 日本語に抜けがちな主語を立てることを意識すると同時に、英語にしやすい日本語に変換することを心がける。
② チャンキング的発想力を身に付ける。

第１に、英語の場合、主語を立てることが必須です。日本語では「これ、好きなんでしょう」とか「昨日映画見たんだけど」のように主語が表現されないことが多々あります。英語では、You like this, right? のように主語が必要です。主語を立てるということは、語順を定めるだけでなく、和文英訳における日本語文を言い換えるということを意味します。Chapter 1では、「主語を立てる」という意識で英文を組み立てることを習慣化するための簡単なトレーニングを行い、それに続いて、Chapter 2では「言い換えるコツ」を紹介していきます。主語を立てる段階で、すでに英語的な思考回路の鳥羽口に立っていることになります。

次に、「英語表現におけるチャンキング」ですが、私たちが言語で何かを表現しようとすると、時間軸に沿って語句を並べていくというプロセスを経ます。どんどんコトバを紡ぎ出すイメージです。このことを「チャンキング」といいます。そして、チャンキングの単位は「チャンク」です。「たなかさんがせんじつおもしろいはなしをしてくれた」という文字列がある場合、日常的には、私たちは「田中さんが」「先日」「面白い話を」「してくれた」という４つのチャンクを認めることができるでしょう。「たなかさ」「んがせん」「じつおも」「しろいはな」「しをし」「てくれ」「た」のように分節すると意味がわかりません。チャンクは「意味のま

とまり」を示す単位と見なすことができます。どの言語でも、言語処理の単位はチャンクで、チャンクを連鎖化させることを通して行われます。チャンキング的発想は、英語の思考回路をなぞるものであり、英作文力を鍛える上で大変有効なものであると思います。指示にしたがって段階的に英文を組み立てるguided chunking（Chapter 3）と、比較的自由に英文を作るfree chunking（Chapter 4）の２つの方法を採用しております。

さあ、はじめましょう。

田中茂範（PEN言語教育サービス代表）

Contents

Chapter 1：主語を立てる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

練習　1&2（解答例付）

Chapter 2：言い換える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

練習　1〜4（解答例付）
チャレンジ　1&2（解説付）
入試問題　1（解説付）

Chapter 3：チャンキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

練習　1〜4（解答例付）
総合練習　1〜11（解答例付）
入試問題　1〜4（解答例付）

Chapter 4：自由チャンキング〜自由作文・・・・・・・・・・・・・・・59

練習　1〜12（解答例付）

練習　1〜5（解答例付）

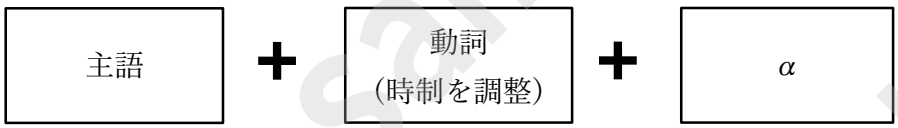
sample sample sample

Chapter 1「主語を立てる」

英語表現における主語の役割

日本語では、「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」「ああ、飽きちゃったな」「マジ？」など文学作品から日常会話までよく**主語を省略します**。会話などでは、わかり切っている主語はほとんど口にすることはありません。日本語でいちいち「あなた」を繰り返したら、相手に怪訝な顔をされるでしょう。

一方、**英語**では、日記の場合や命令形のとき以外は、**主語を省略することはしません**。英語では、主語を表に出さなければ、語順が定まらないからです。主語を立て、時制を考えながら動詞を選び、必要な情報を加えて文を組み立てる、これが英語の文の作成過程です。



sample sample sample sample

練習

1 英語の主語を一緒に確認しましょう。

Long ago, people did not have many ways to communicate. They could talk to each other. They could write letters. They could communicate by using their hands. Today, we have many more ways to communicate. We can use a telephone to talk with people. We can listen to news or music on a radio. We can watch our favorite shows on television. We can talk with people online. We can watch online movies.

ここで過去を振り返って語る際には、主語の people を受けて、they を一貫して主語に用いています。そして、今日に話題が移ると、主語は we で一貫しています。

2 英語の主語を一緒に確認しましょう。

You don't know how to fix the holes in our ozone layer. You don't know how to bring salmon back up a dead stream. You don't know how to bring back an animal now extinct. And you can't bring back forests that once grew where there is now desert. If you don't know how to fix it, please stop breaking it!

(Severn Suzuki's legendary speech in Rio)

このような主語の反復は英語ではレトリック（修辞学）のひとつにもなり、演説などでは多用される手法です。

sample sample sample sample

Chapter 2「言い換える」

言い換えのコツ

「**私は三日坊主です**」を英訳しなさい、と言われたとしましょう。「三日坊主？それって英語でなんて言うのかな」と考えてしまうかもしれないですね。三日を three days、坊主を priest、と捉えたとしてもピンときません。

こういうときは、まず**日本語を言い換えてみる**といいですね。**三日坊主**とは、簡単に言えば、**何かをずっと続けられない**ということです。このように、日本語をかみくだいて言い換えてから、**英語で表現してみる**と英語にしやすくなります。

① 和文：　「三日坊主」
↓
② 言い換え：　「何かをずっと続けられない」
↓
③ 「英文」化：　“I can't keep doing one thing for a long time.”

※I can't keep doing one thing for more than a few days.（数日以上にわたってひとつのことを続けられない）とすると、よりニュアンスが伝わるかもしれない。

ここでは言い換えのコツとして、4つを紹介します。それぞれ応用力のあるコツです。

① 名詞が分からなければ動詞的な表現に言い換えよう。
② 動詞表現が見つからなければ句動詞のようなやさしい言い方にしよう。
③ 慣用的な日本語なら意味的に近い表現に変えよう。
④ 文の構造を変えてしまおう。

sample sample sample

知識

名詞がわからなければ動詞的な表現に言い換えよう。

和文：「日の出とともに出発した」

↓ 「**日の出**」の英語は “sun…” 何とか、ちょっと思い出せない。
動詞を使って言い換えたらどうかな？

言い換え：「日の出」 → **太陽が昇ったとき**

↓

「英文」化： **when the sun went up**

「日の出とともに出発した」 → **We left when the sun went up.**

動詞表現が見つからなければ句動詞のようなやさしい言い方にしよう。

和文：「次の 100 年に向けて前進します」

↓ 「**前進します**」の英語は“ad…” 何とか、ちょっと思い出せない。
句動詞など使ってやさしく言い換える……

言い換え：「前進します」 → **前へ向かって移動する**

↓

「英文」化： **move forward**

「次の 100 年に向けて前進します」 → **We will move forward for the next 100 years.**

sample sample sample

Chapter 3 「チャンキング」

Guided Chunking

複雑な表現も、複数のチャンクをつなげることで可能になってきます。例文を通じて、チャンキングによる英語の思考の流れに慣れていきましょう。ステップバイステップでガイドしますので、一緒にやってみましょう。まずは例です。

トピック：おいしいコーヒーを淹れる

「毎朝おいしいコーヒーをお母さんのために食後に淹れます」を英語で表現しよう。

Stage 1: まず、この文章の**核**、**「コーヒーを淹れます」**を英語にする。**主語**を立てることを忘れずに。

I make coffee.

Stage 2: 次に、「コーヒー」に**「おいしい」**という形容詞を足す。「おいしいコーヒーを淹れます」を英語にする。

I make **delicious** coffee

Stage 3: **「毎朝」**という時に関する情報を足す。「毎朝おいしいコーヒーを淹れます」を英語にする。

I make delicious coffee **every morning.**

Stage 4: さらに、**「お母さんのために」**という副詞情報を足してみよう。**「毎朝おいしいコーヒーをお母さんのために淹れます」**を英語にする。

I make delicious coffee **for my mother** every morning.

Stage 5: 最後に、**「朝食後に」**という時の副詞情報を足してみよう。「毎朝おいしいコーヒーをお母さんのために食後に淹れます」を英語にする。

I make delicious coffee for my mother **after breakfast** every morning.

練習

1 次の日本語の状況を英語で表現しよう。

トピック：中国語を学ぶ

「中国を一人で旅行したいから、土曜日の夜、秋葉原の中国語のクラスに通うことに決めたよ」

Stage 1: まず、この文章の核は**「中国語のクラスに通う」**なので、それをまず英語で表現する。

_____

Stage 2: 「通うことに決めたよ」だから「決心した今の気持ち」なので have decided to go を使って、**「中国語のクラスに通うことに決めたよ」**を英語にする。

_____

Stage 3: 次に、**「土曜日の夜」**（on Saturday nights）という時の副詞情報を足してみよう。

_____

Stage 4: 今度は、**「秋葉原の中国語のクラス」**の「秋葉原の」を足してみよう。「土曜日の夜、秋葉原の中国語のクラスに通うことに決めたよ」」を英語にする。

_____

Stage 5: 最後に、**「中国を一人で旅行したいから」**を足す。「中国を一人で旅行したいから、土曜日の夜、秋葉原の中国語のクラスに通うことに決めたよ」を英語で表現しよう。

_____

_____

ヒント：一人では alone を使う。中国を一人で旅行したいから because I want to take a trip in China alone

sample sample sample sample sample

ここまで学んだ知識をフルに使って、和文を英文に翻訳してください。解答例を参照しながらシミュレーションを繰り返すことで、英語表現のコツを掴みましょう。

1 以下の日本語で示された内容を英語で表現してみよう。必要に応じて、Glossaryを参考してください。

状況：外国人の友人と和食の店に入ります。お客さんが食べている「鍋もの」を指して、あれは何ですかと聞いてきました。

それは「ちゃんこ鍋」と呼ばれます。荒っぽい言い方をすれば、ちゃんこ鍋は暖かい鍋料理です。それは、シチューの一種です。鍋の中に何でも入れ、それをぐつぐつ煮ます。

Glossary

暖かい鍋料理　a hot pot dish
荒っぽい言い方をすれば　roughly speaking
シチューの一種　a kind of simmer

sample sample sample sample sample

2　以下の日本語で示された内容を英語で表現してみよう。必要に応じて、Glossaryを参考してください。

うれしいことに、東野圭吾の新刊が出たんだ！レビューもよく、すぐに読みたくて、思わずオンラインで電子書籍を買っちゃった。

Glossary

うれしいことに　to my delight
東野圭吾の新刊　Keigo Higashino's new book
レビュー　the reviews
すぐに　instinctively
思わず　impulsively

sample sample sample sample sample

練習

7 チャンク表現グループを自由に使って、5つの文を作成するようにしてください。

Theme： go grape picking

チャンク表現グループ

☐in Katsunuma	☐with one's family
☐in a large grape garden	☐with my girlfriend
☐ somewhere in Nagano prefecture	☐in a company retreat
☐be planning to	☐It's about time
☐be going to	☐Autumn is the season for
☐would like to	☐It is exciting to
☐have to	☐now that
☐next Sunday	☐as long as
☐last week	☐no matter what
☐three days from now	☐in case

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

5. _____

sample sample sample sample sample

8 Themeに合わせて、自由英作文(60~80文字ぐらい)を書いてください。

メモ帳

sample sample sample sample sample